





株主の皆様へ

社会に必要とされる「半歩先」を見極めて 挑戦を続け、企業価値を高めることで従業員 や株主の皆様、社会に還元して参ります。

代表取締役社長 白鳥 誉

Shiratori Homare

株主の皆様におかれましては、格別なるご支援を賜り心より厚く御礼申し上げます。

エノモトグループは1962年の創業以来、コア技術である金型加工を中心に新技術を開発し、社会構造の変化によって激変する最先端の市場の要求に応えて参りました。

そして、経営理念である「経営の中心は人であり、 健全なものづくりを通じて、豊かな社会の実現に 貢献する」という精神のもと、2030年度までの長 期経営ビジョンとして『金型の技術で未来を創る ~より小さく より速く 最先端の技術で暮らし とビジネスのベストパートナーを目指す〜』を策定し、これからも日本のものづくりに貢献し続ける決意を新たにしております。

長期経営ビジョンで掲げております、2030年度の営業利益目標35億円を達成できるよう、全社一丸となり、業績の向上と経営基盤の強化を目指し、なお一層努力して参る所存でございますので、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

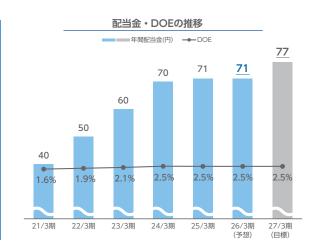


配当政策

・2023年5月に配当方針をDOE2.5%以上に変更、2026年3月期もDOE2.5%以上となる71円の配当を継続

2024年3月期以降の配当方針

- DOE2.5%以上を配当の数値基準とする
- ・中期経営計画「2nd STEP」でも、最適な自己 資本水準や短期的な利益増加の反映方法を総合 的に勘案しつつ、増配トレンドを継続する
- 2026年3月期は71円配当を予定 (DOE2.5% DOE (自己資本配当率) = 年間配当額/株主資本)



資本政策

- ・営業キャッシュフローによる成長投資の実施と安定的な配当を行い企業価値の最大化を図る
- ・自己株式の取得により、株主還元額を期初計画の15億円から20億円に増額
- ・2026年3月期は、成長投資へ22億円、株主還元に5億円を予定

3年間のキャッシュアロケーション





ビジョン2030

「金型の技術で未来を創る」

より小さく より速く 最先端の技術で 暮らしとビジネスのベストパートナーを目指す

ありたい姿







- ・AI化と無人化による金型技術の進化で常に 最先端の市場に向けて高品質な部品をス ピーディーに提供し続ける
- ・失敗を恐れずチャレンジし多様な人財が活躍できる職場環境づくりを通じてイノベーションを生み新たな企業価値を創造する
- ・燃料電池部品の実用化で脱炭素社会の実現 に貢献する
- ・社会環境におけるリスクと機会を的確にと らえて行動することで信頼される企業であ り続ける

中長期成長目標

- ・ビジョン2030では、既存製品の需要拡大を見据えつつ、付加価値率の向上を軸とした各種施策で主力製品のマーケット成長を 上回る売上・利益成長を図る
- 2nd STEPでは、車載向けリードフレームの生産拡大、ハイエンドLEDの強化、メッキ内製化による付加価値向上を実現する
- 生産面では、精密加工の無人化、スマートファクトリー実現に向け、データの共有化やビッグデータの構築と見える化を推進する





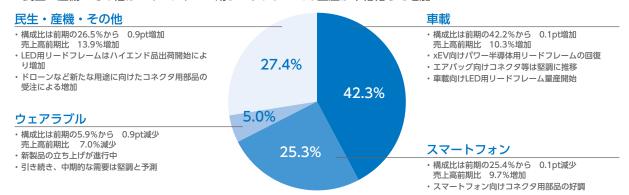
製品群別施策の進捗

- パワー半導体用リードフレームは再成長に向けた、複数の次世代製品引合いに対応中
- オプト用リードフレームは受注済み案件の量産立上げに注力し、確実な成長を見込む
- コネクタ用部品は既存製品の調整完了による再成長に加え、ウェアラブル端末向けなどの新製品受注で高難度への挑 戦継続



用途別量產品売上構成比

- 車載はパワー半導体用リードフレームは回復、エアバッグ向け堅調、ハイエンドLED用リードフレーム量産開始
- スマートフォン向けも新モデル中心に需要堅調
- 民生・産機・その他はハイエンドLED用リードフレームの量産が本格化して増加



太陽光発電設備の設置・非化石証書の活用

2024年度の太陽光発電実績

発電量4,015干kWhGHG排出削減量2,045t-CO2

2024年度完成

2025年6月稼働開始

◆本社工場(塩山)社員寮跡地

発電容量:約250kW

年間発電量:約410千kWh(想定)

く効果>

稼働後の発電容量

GHG排出削減量 約160t-CO₂ 国内 2.6MW 海外 1.6MW 合計 4.2MW





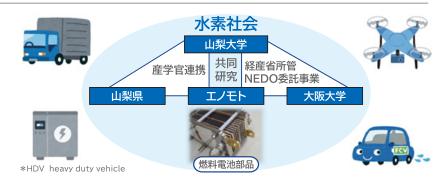




2025年2月 愛称公認取得

環境への取り組み 燃料電池部品の開発

- 固体高分子形燃料電池 (PEFC) 向けガス拡散層 (GDL) 一体型 金属セパレータを山梨大学と共 同研究
- 市場環境の変化に応じて、大型・ 商用モビリティ(HDV)向けの 燃料電池の開発に注力、将来は 電気自動車、ドローン、緊急電源、 エネファーム等での実現を図る



個人投資家向け説明会動画を公開!



2025年8月30日に開催した「個人投資家向けWEB 会社説明会」の資料や説明会の模様を動画でご覧いただけます。

当社事業の紹介や中期経営計画についてご説明しておりますので、ぜひご覧ください。



中期経営計画『ビジョン2030』



中期経営計画『ビジョン2030』を公開しております。 当社の持続的な成長に向けた戦略性をご理解いただけ ます。ぜひご一読ください。



■会社概要 (2025年9月30日現在)

社 名 株式会社エノモト

本 社 山梨県上野原市上野原8154番地19

TEL 0554 (62) 5111

創 業 1962年7月1日

資 本 金 4,749,333千円

従 業 員 数 535名

事業内容 各種電子部品用プレス加工品及び

射出成形加工品の製造販売

子 会 社 ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc.

ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd. ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.

■役員(2025年9月30日現在)

取締役会長 武内延公 上席執行役員 佐藤裕光

代表取締役社長 白 鳥 🎽 上席執行役員 藤 巻 正 史

取締役 小川秀雄 執行役員 武井 勉

監査等委員(社外) 八巻佐知子 執行役員 坂本吉康

監査等委員(社外) 氏家美千代

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基 準 日 定時株主総会・期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

特別口座の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

□座管理機関

三井住友信託銀行株式会社

二升住及信託或行体以云社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁月8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店及び全国各支店で行っております。 ・住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

株主様の□座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に□座がないため特別□座が開設されました株主様は、特別□座の□座管理機関である三井住友

信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申

出ください。

ENOMETO Co.,Ltd.

